

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 道路使用適正化推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 交通部 交通規制課 電話番号：058-271-2424(内5161)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,853 千円 (前年度予算額： 17,957 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,957	0	0	17,957	0	0	0	0	0
要求額	19,853	0	0	19,853	0	0	0	0	0
決定額	19,853	0	0	19,853	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

道路における危険の防止及び交通の円滑のため、適正な道路使用許可業務を推進する必要がある。昭和63年から岐阜市内の道路使用許可申請に対する調査及び確認を「岐阜県交通安全活動推進センター」(一般財団法人岐阜県交通安全協会)へ委託しており、平成31年度から各務原市を委託地域に追加した。

(2) 事業内容

岐阜中警察署、岐阜南警察署、岐阜北警察署、各務原警察署管内の道路使用許可調査業務(許可条件等の履行状況及び原状回復の確認調査等)を、道路交通法の規程に基づいて委託する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内で道路使用許可申請の多い岐阜市及び各務原市内の道路使用許可に関する調査等の業務の一部を委託するものであり、また、道路使用許可申請手数料を財源充当しており県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料等	19,853	道路使用許可調査業務委託
合計	19,853	

決定額の考え方

4 参考事項

各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

II-2-3 犯罪・交通事故防止の推進

○ 交通事故を防止する

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
道路における危険の防止・交通の円滑のため、道路使用許可業務の適正化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
道路使用許可調査業務委託件数		3,783件				

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜市及び各務原市における道路使用許可手続き事務の一部を委託する事業であり、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜中警察署、岐阜南警察署、岐阜北警察署、各務原警察署管内の道路使用許可調査について業務委託を行っている。 道路使用許可調査業務委託件数 5,408件（令和4年度） 適正な道路使用許可の実施により、道路における危険防止、交通の円滑化を維持している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜中警察署、岐阜南警察署、岐阜北警察署、各務原警察署管内の道路使用許可調査について業務委託を行っている。 道路使用許可調査業務委託件数 4,990件（令和5年度） 適正な道路使用許可の実施により、道路における危険防止、交通の円滑化を維持している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜中警察署、岐阜南警察署、岐阜北警察署、各務原警察署管内の道路使用許可調査について業務委託を行っている。 道路使用許可調査業務委託件数 3,783件（令和6年度） 適正な道路使用許可の実施により、道路における危険防止、交通の円滑化を維持している。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	道路交通法に基づく事業であり、必要性は高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	適正な道路使用許可業務を行っている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	適正な契約事業に努めている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 警察官の負担軽減や活動時間の確保のため、県民の要望があれば今後、委託対象警察署を増やすことも検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 法に基づく事業で必要不可欠であり、今後も引き続き適正に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	